

1 次の文章の空欄(1)～(5)にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

日常じつじょうの中で感じたたちよつとした疑問ぎんもんをうやむやにせず、深く探究たんけんしていくことはとても大事なことです。たとえば、(1) **ウ** 子どもは学校に行かなければならないのでしょうか。「だって、そう決められているから」で終わらせずにもう少しよく調べてみると、いろいろな面白い説せつに出会えることもあります。こんなことが言われています。(2) **エ**、古代こくごや中世ちゅうせいと呼ばれた時代、子どもは学校に行くこともなく、大人とともに小さい頃から一緒に働はたらいていました。それがやがて近代けんたいという時代を迎むかえます。近代は理性せいせいを重視せいちする時代と言いわれます。理性とは論理的ろんりてきに物事を正しくとらえる力のことです。(3) **オ** 子どもというのは往々おつたつたにして理性的りていてきではありません。感情じしょうに任せまかせて暴あばれたり、筋すじの通とおらないことを言いってただをこねたりします。理性重視りていせいしの社会しゃかいにそのような存在そんざいが紛まぎれ込んでいては面倒めんどうですね。(4) **ア** 近代の人々は、子どもという非理性的ひりていてきな存在そんざいを一つの場所に閉とじ込こめて、理性的な振ふる舞まいができるように訓練くんれんすることにしました。それが学校という空間くわんかんの始まりだったとも言いわれるのです。こんなふうふうに日常じつじょうのちよつとした疑問ぎんもんをうやむやにせず、深く探究たんけんしていくことことでいろいろな学びが得えられます。(5) **イ** 疑問こそ学びの原点げんてんなのです。

- ア だから イ つまり ウ どうして エ かつて オ ところが
- (1) **ウ** (理由りゆうを考える)
- (2) **エ** (昔むかしのこと)
- (3) **オ** (期待ちかいと違ちがう内容ないよう)
- (4) **ア** (原因げんいんから結果けつが)
- (5) **イ** (結論けつろんをまとめる)

*アとイの違いをよく考えて入れましょう。

2 次の文章の空欄(6)～(10)にあてはまる言葉をそれぞれ次のカ～コから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

「空気を読む」という言葉は「その場の雰囲気ふんいきから状況じょうきょうを推し量おる」という意味で使わ



れている。日本人は空気を読んで行動することを美德とくと考える傾向けいがあるように思う。

(6) **カ** その場がどういった場であるかを察して、それにふさわしい行動をすること自体は悪いことではない。

(7) **キ** 、空気を読むことによって、真実まことが覆おほい隠かくされるようなことがあれば問題である。

(8) **ク** 、ある企業きぎの幹部かんぶの汚職おしよくに部下たちが気づいていながら、空気を読んでそれを公けにしないなどということは決して許ゆるされてはならない。

このような悪い形での「空気を読む」の背後はにあるのは大概たいてい「同調圧力あつ」である。(9) **ケ** 、

集団の中で、少数意見を持つ人に対して、周囲の多くの人と同じように考え行動するよう
に暗黙もくのうちに強制せ制することである。この「同調圧力」が作動せしないようするには、集団
は多様な成員によって編成へんせいされることが理想的である。

メンバーの存在が重要なのである。

(10) **ク** 「空気を読まない」メ

カ 確かに キ しかし ク とりわけ ケ すなわち コ たとえば

(6) カ (よくある意見をいったん認みとめる) (7) キ (よくある意見とは違ちがうことを述べる)

(8) コ (例をあげる) (9) ケ (言い換え) (10) ク (特に強調)